

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容・健康 I	演習	1	山本 章雄
記載不要			
【授業のテーマ及び到達目標】 テーマ：乳幼児期の子ども達が「健康」な生活を送るため、保育者として必要な知識や役割について学ぶ。 到達目標：・健康とは何か？健康を維持増進させるためには何が必要か？を理解している。 ・乳幼児の心身の育ち、運動能力の発達についての科学的理論を説明できる。 ・健康と関連する「食育」「安全・衛生」「保健」などの内容を教育・保育現場で実践できる。 ・乳幼児の健康づくりにおける、保護者との連携、地域との連携を実行する能力を獲得している。			
【授業の概要】 科学技術の発達、社会構造の変化などにより、現代社会における「乳幼児の健康」にはいろいろな問題が生起している。この授業では、健康とは何か？といった根源的な問題からスタートし、対象となる乳幼児の心身・運動能力の状況、健康を支える栄養・衛生・保健、そして実践に必要な保護者・地域連携の方法について、学生の能動的取り組みにより学ぶ。			
【全体の授業計画・内容】			
1. ガイダンス(授業目標、授業内容、日程、能動的な取り組み、評価方法等の説明・意見交換) 事前学修課題：シラバスにより授業の概要を理解しておく【0.5時間】 事後学修課題：ガイダンスの内容を再確認し受講計画を立案する【0.5時間】			
2. 幼稚園教育要領等における領域「健康」が目指す内容・事項の確認(2018年の改訂に関連して) 事前学修課題：領域「健康」について調べておく【0.5時間】 事後学修課題：幼稚園教育要領等を読み直しておく【0.5時間】			
3. 「健康」とは何か？ ① 健康の考え方・健康観について 事前学修課題：健康とは何か？について自分の意見を考えておく【0.5時間】 事後学修課題：多様な健康観の違いをまとめる【0.5時間】			
4. 「健康」とは何か？ ② 健康概念の歴史的推移について 事前学修課題：「養生訓」など昔の考えを調べておく【0.5時間】 事後学修課題：国内・海外の歴史的推移を確認する【0.5時間】			
5. 「健康」とは何か？ ③ 乳幼児期における「健康」とは 事前学修課題：乳幼児の年齢的特性について調べておく【0.5時間】 事後学修課題：発達段階の特性と「健康」の関係についてまとめる【0.5時間】			
6. 乳幼児期のからだの育ちと運動能力等の発達について ① 科学的理論の紹介 事前学修課題：運動能力にはどのような要素があるか調べる【0.5時間】 事後学修課題：科学的な研究によって明らかになった理論を理解する【0.5時間】			
7. 乳幼児期のからだの育ちと運動能力等の発達について ② 0・1・2歳児のからだの育ちと生活・あそび 事前学修課題：0・1・2歳児の発達段階について調べておく【0.5時間】 事後学修課題：発達段階とそれに応じたあそびの内容を整理する【0.5時間】			
8. 乳幼児期のからだの育ちと運動能力等の発達について ③ 3・4・5歳児のからだの育ちと生活・あそび 事前学修課題：3・4・5歳児の発達段階について調べておく【0.5時間】			

事後学修課題:発達段階とそれに応じたあそびの内容を整理する【0.5時間】
9. 保育実践における乳幼児期の「食育」について 事前学修課題:「食育」という言葉について調べておく【0.5時間】 事後学修課題:乳幼児にとって「食」が果たす役割をまとめる【0.5時間】
10. 保育実践における乳幼児期の「安全・衛生指導」および「安全管理」について 事前学修課題:「安全」「衛生」の内容を調べておく【0.5時間】 事後学修課題:乳幼児にとっての「安全」「衛生」「安全管理」の必要性をまとめておく【0.5時間】
11. 保育実践における乳幼児期の「環境」および「健康指導」について 事前学修課題:「環境」「健康指導」の意味を調べておく【0.5時間】 事後学修課題:乳幼児にとっての「環境」「健康教育」の意義をまとめておく【0.5時間】
12. 保育実践「健康」における「保育行事」「伝統的民族行事」等の指導について 事前学修課題:保育現場に於ける「行事」の意義を考えておく【0.5時間】 事後学修課題:保育現場で「行事」を実施する際の留意点をまとめる【0.5時間】
13. 保育実践「健康」における保護者・地域との連携のあり方について 事前学修課題:連携における効果・問題点を挙げておく【0.5時間】 事後学修課題:連携を行う際の留意点をまとめる【0.5時間】
14. 保育実践「健康」指導における今日的課題について 事前学修課題:乳幼児が直面している今日的課題をまとめておく【0.5時間】 事後学修課題:課題解決に向けてのポイントをまとめる【0.5時間】
15. 試験およびまとめ 事前学修課題:全体を見直し理解する【0.5時間】 事後学修課題:不明であった点を再度見直し理解しておく【0.5時間】
【学習のあり方】 人間の「健康」とはどのような事かについての基本的理解・意識を常に持ち、子どもの成長・発達期の特徴を科学的側面より理解するとともに、保育実践における様々な手法・留意点につて「主体的」に学ぶ姿勢を持つこと。
【成績評価】 受講態度(30%)、発表・提出物(30%)、試験(40%)
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】 提出物、試験等に必要がある場合、個別にコメントを行う。その他は授業時に口頭でコメントする。
【テキスト】 特になし
【参考文献】 保育・幼児教育シリーズ「健康の指導法」 宮崎豊・田澤里喜 編著 玉川大学出版部 子どものこころとからだを育てる保育内容「健康」 高内正子 編著 保育出版社
【実務経験の有無】